

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県みやぎ県南中核病院企業団 みやぎ県南中核病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	33	対象	ド透I未訓ガ	救臨へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	26,364	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

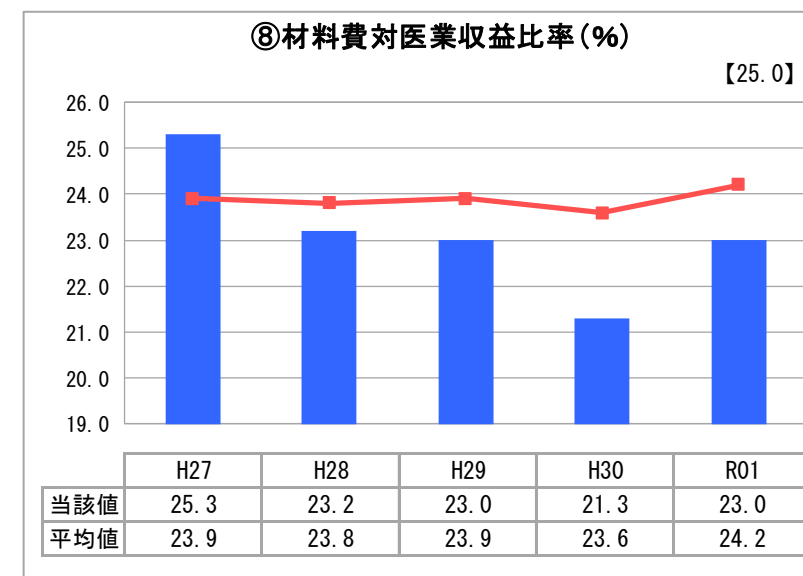
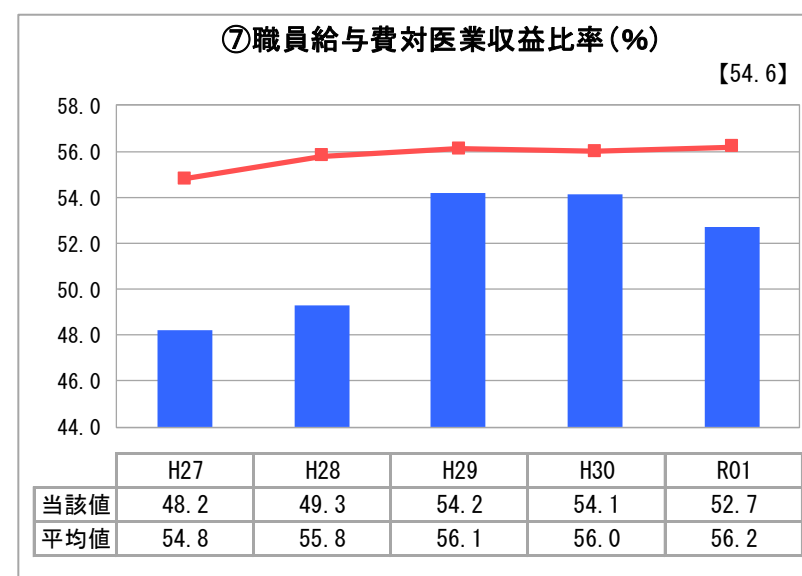
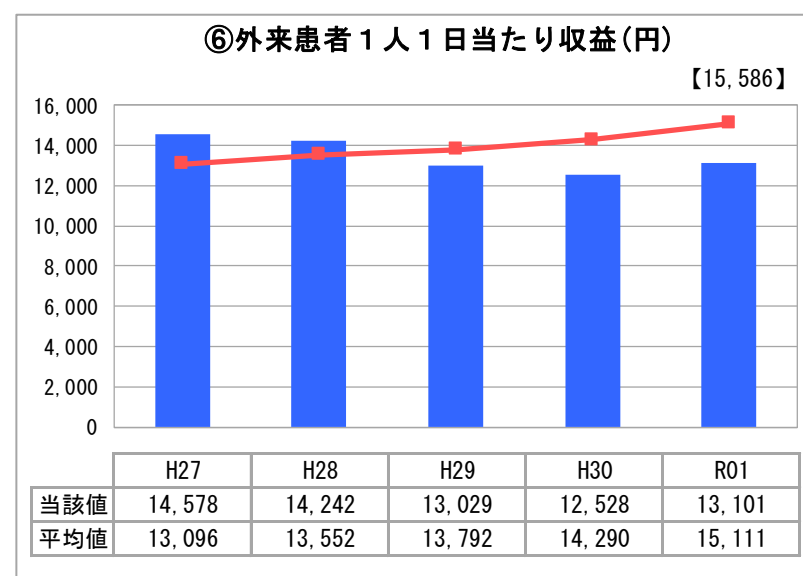
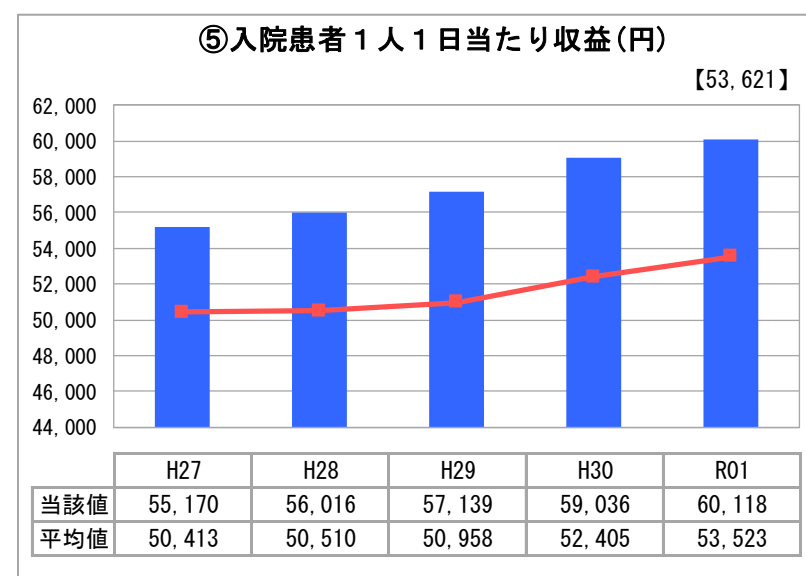
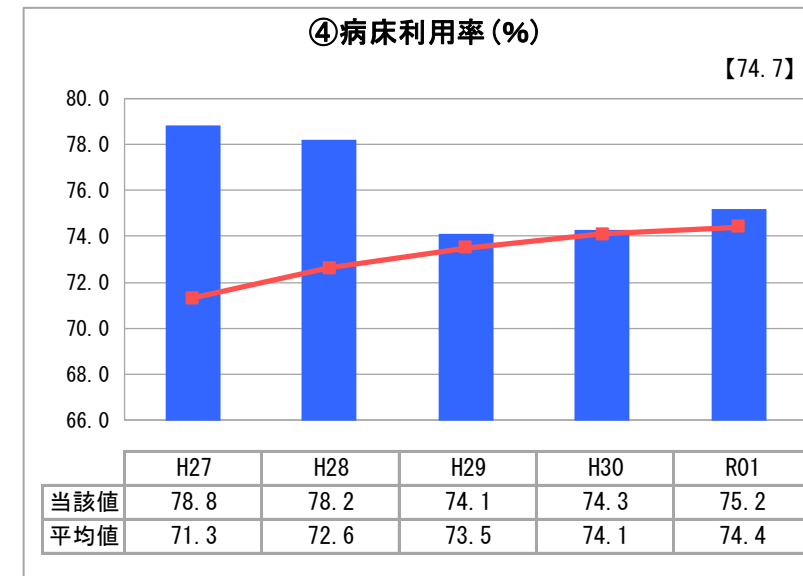
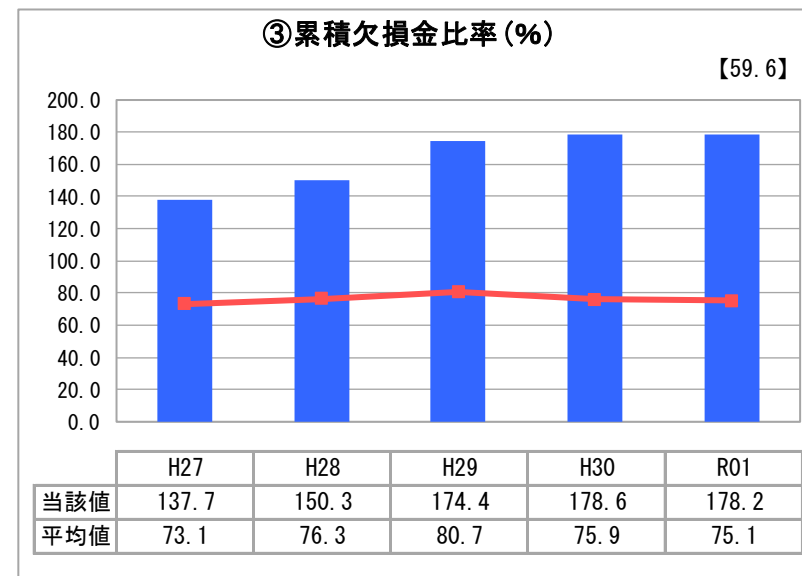
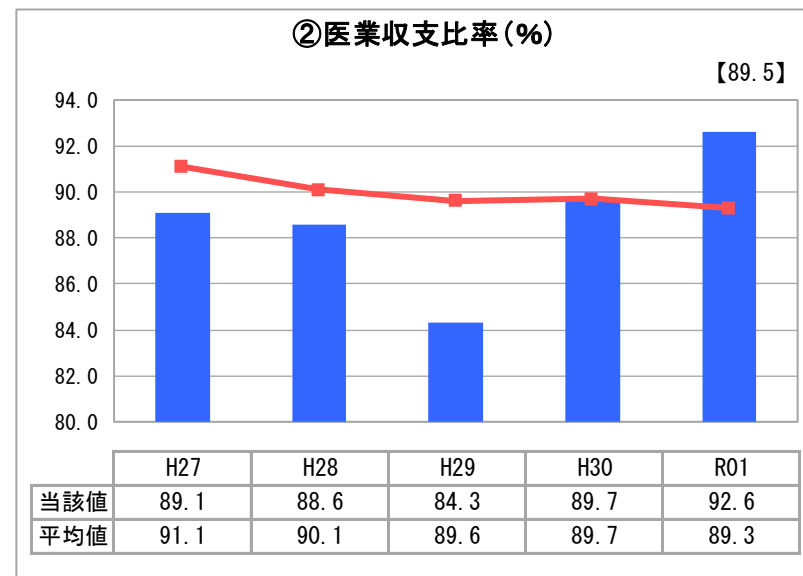
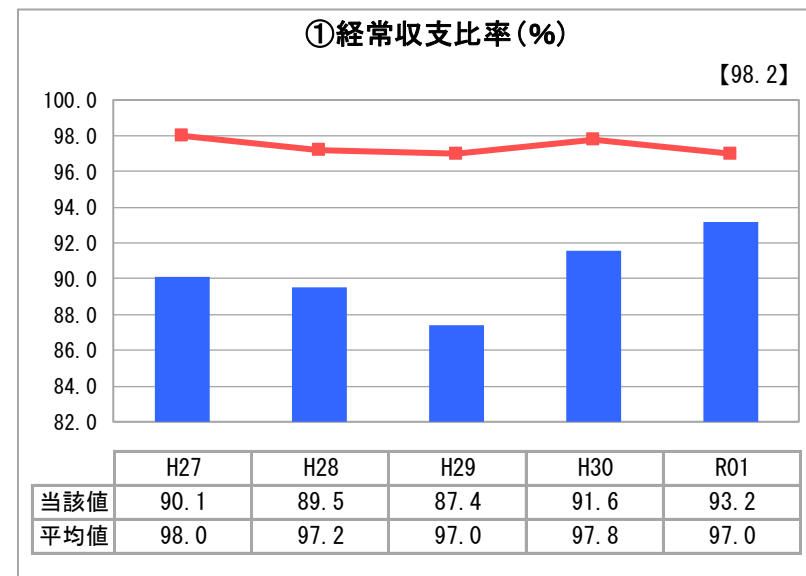
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
310	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	310
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
260	-	260

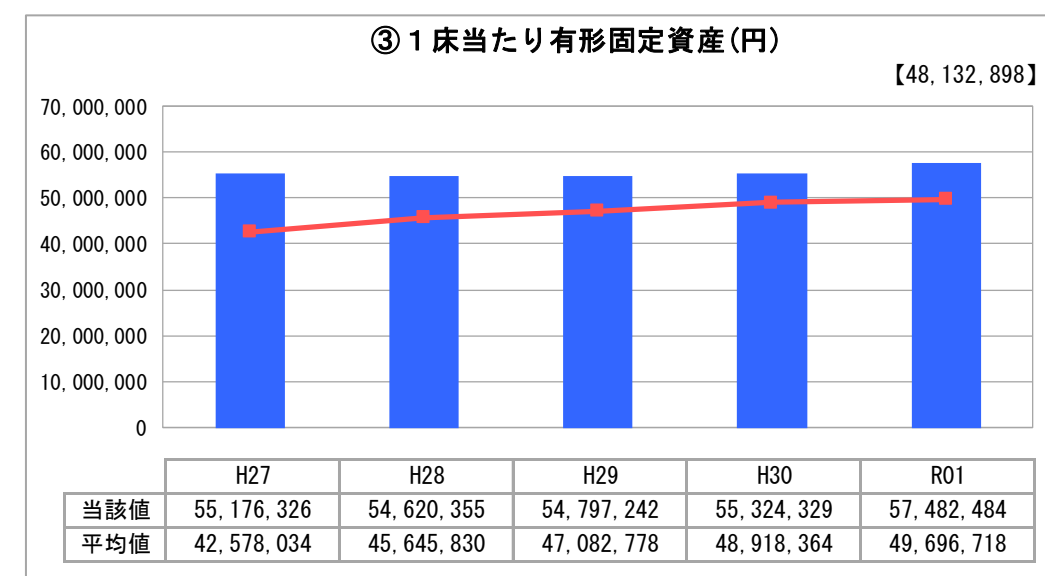
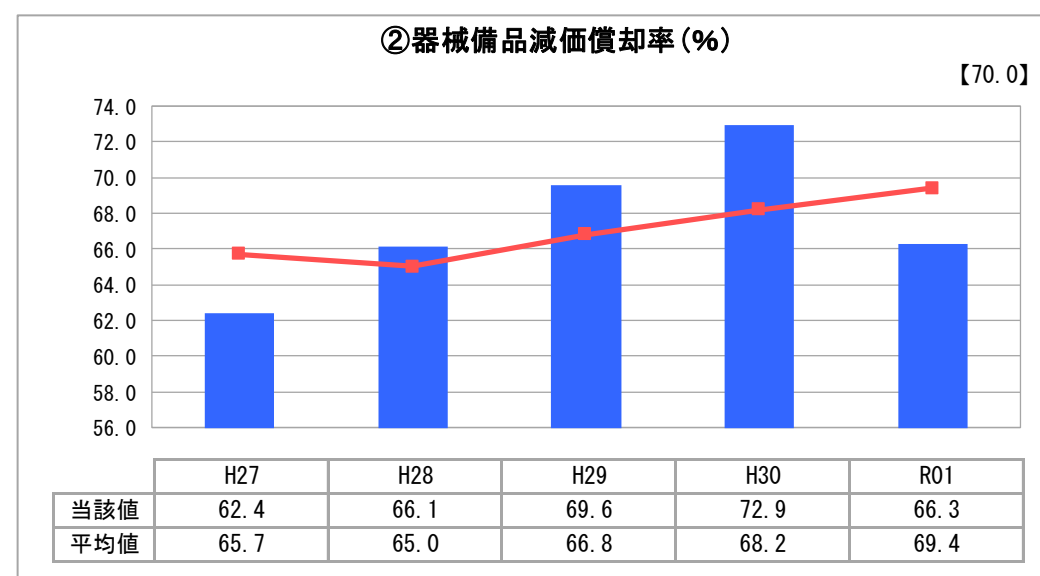
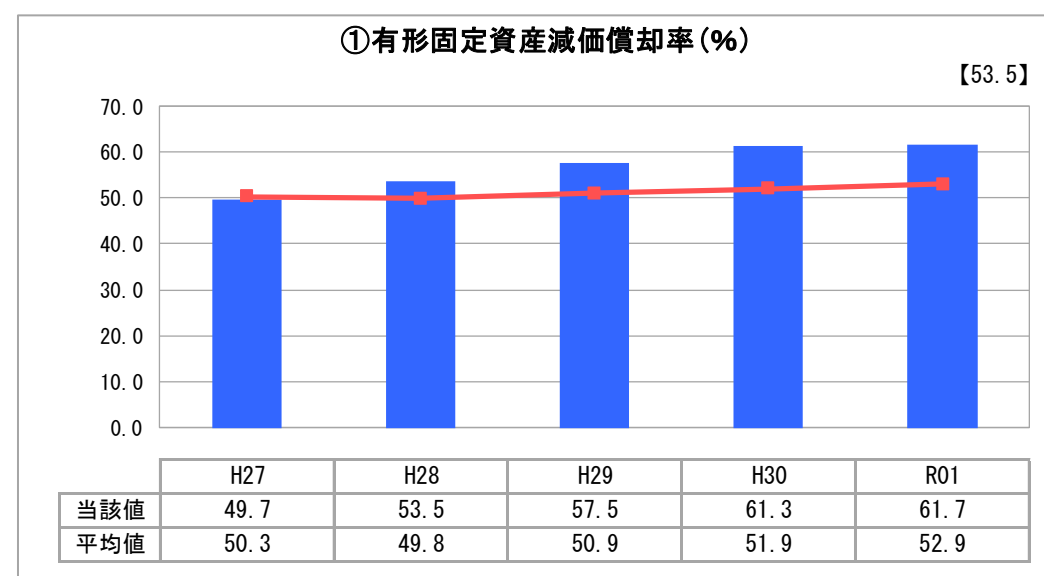
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

県南の急性期医療、専門医療、救急医療、がん医療、へき地医療のほかに医療スタッフ研修機能を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

看護師不足のためH29より病床の休止（47床）が続いているが、病床の効率的運用により在院日数を適正に短縮し新規入院患者数の増加を図ることができた。また眼科及び乳腺外科医師の常勤化に伴い手術収益が増加し経常収支比率、医業収支比率とも改善している。

しかしながら、まだまだ経営状況は厳しく資金不足を一時借入金に依存している状況である。引き続き、看護師確保に努め、更なる経営改善を進めていく。

2. 老朽化の状況について

開院から18年が経ち機器や付帯設備の更新・修繕時期になってきている。現在の経営状況ですべて行うことができないので、検討し計画的に順次更新を進める。

全体総括

経常収支比率、医業収支比率とも改善しているが赤字は続いており、累積欠損金は減少したが、累積欠損金は増加しており、大変厳しい状態である。施設の老朽化も進んできており、増々資金が必要となってくる。

早急に看護師を確保し、休止病床の開床を目指すこと、および費用の圧縮に努め経営改善を実行していく。